

公共投資に「創造力」



長寿命化計画のご提案



*

このパンフレット集は、
「ストックマネジメント事業」の
長寿命化計画に関する提案を
とりまとめたものです。

*

インフラマネジメントが求められています。

● インフラが一斉に老齢化

高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが今後一斉に耐用年限を迎える。市民の安全・安心確保に向けてインフラを良好な状況に保っていくため、適切な対応が必要です。

● インフラストックの維持管理コストが拡大

インフラストックの維持管理に向けたコストは今後大きくなっていくことが予想され、財政を逼迫させる可能性があります。

● インフラの維持管理に必要な情報が不明な施設も

今後維持管理・更新を進めていく必要のあるインフラによっては、施設諸元や劣化、損傷状況等の情報が不明な施設もあります。

● 国もインフラマネジメントの取組みをはじめています。

上記のようなことを踏まえて、国では平成25年を「社会資本メンテナンス元年」と位置づけ、インフラの老朽化対策についての取組みを加速しており、「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、計画的な取組みを始めています。

Stock management

インフラマネジメントの進め方

● メンテナンスサイクルの構築

インフラ施設の特性を考慮し、定期的な点検診断により、必要な対策を適切な時期に、実施するとともに、これらの取り組みを通じて得た施設の状態や対策履歴等の情報を記録、次の点検・対策につなげ、インフラの管理水準を向上させていくといった「メンテナンスサイクル」の構築が必要です。

● 中長期的視点に立ったコスト管理

インフラ投資の持続可能性を確保するため、メンテナンスコストの縮減や平准化を図ることが必要です。このため、「予防保全型の維持管理」の実施や時代変化への対応など戦略的に取り組むことが必要です。

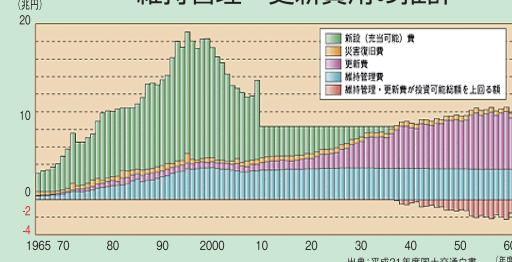
NiXは、ストックマネジメントに取り組んできた経験を基にインフラマネジメントの取組みを総合的に支援します。

建設後50年以上経過するインフラの割合

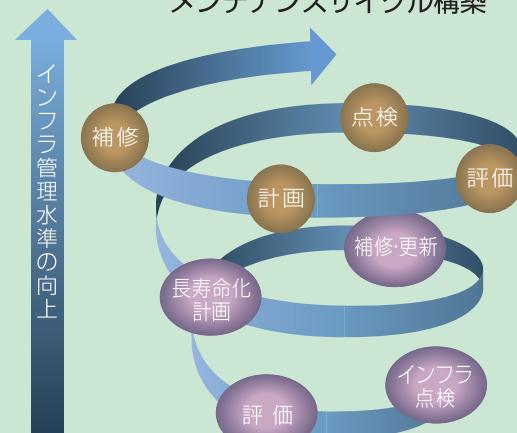
	平成24年3月	34年3月	44年3月
道路橋 (橋長2m以上)	約16%	約40%	約65%
トンネル	約18%	約31%	約47%
河川管理施設 (国管理の水門等)	約24%	約40%	約62%
下水道管きょ	約2%	約7%	約23%
港湾岸壁 (水深-4.5m以深)	約7%	約29%	約56%

資料：国土交通省

維持管理・更新費用の推計



メンテナンスサイクル構築



- これまで、下水道長寿命化計画、橋梁長寿命化計画、公園長寿命化計画、そして施設の点検・補修設計などインフラマネジメントに取り組んできたノウハウを生かし、最適なインフラマネジメントの実現に向けた提案を行います。
- また地方コンサルとして、地域に精通した技術者が実情に即した提案を行います。